

ベッコウトンボ

Libellula angelina

兵庫県：絶滅

環境省：絶滅危惧 I A類(CR)

種の概要

腹長23～28mm、後翅長30～34mm程度。未熟♂と♀の体色は茶褐色であるが、♂は成熟すると黒褐色となる。翅は透明で、前後翅ともに基部、結節部、縁紋付近に黒褐色の斑紋を有する。平地から丘陵地のヨシ、ヒメガマなどの抽水植物が繁茂する水深の浅い池沼に生息し、幼虫は水底に見られる。成虫は4月～6月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、姫路市、加古川市、高砂市、小野市、加西市、加東市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		○

特記事項

Aランクから絶滅に変更

2023年現在ですでに15年間、兵庫県内でその姿が確認されていない。ヨツボシトンボと共存する例が多かったが、ヨツボシトンボの確認がそれなりにあるにもかかわらず本種が見つかっていないことを考えると、県内絶滅した可能性が非常に高いと考えられる。

保護上の留意点